

# 全日本官公庁剣道連盟

## 第50回記念剣道大会

日時 平成30年10月20日(土)  
会場 東京武道館



(第50回剣道大会を記念し製作した優勝旗)

主催 全日本官公庁剣道連盟 / 後援 一般財団法人 全日本剣道連盟

後援 一般財団法人 東京都剣道連盟



### 「天鑑無私」の書について

「天に鑑み、私無し」と読みます。

「天道に照らし合わせ、決して私心を以って事にあたらない」という、公僕の心構えを表しています。

官公庁剣道は、そのような公務員としての心構えを映した剣道であるべきであるとの考えから、官公庁剣道連盟として象徴的な言葉として大切にしています。

この言葉は、会計検査院長を務められた、第二代会長山崎高先生がよくお話になった言葉で、今日までも連盟旗や記念の手拭を作成しており、おなじみの格調のある、勢いのある見事な書となっています。

競技役員	午前8時前南口集合し東口から8時00入館
選手受付	午前8時30分（第一武道場）
審判員	午前8時50分から審判会議 （2階第研修室）

## ご 挨拶



全日本官公庁剣道連盟  
会長 江藤 兵部

本日ここに、全国各地からかくも大勢の官公庁精鋭剣士を迎え、第50回という大きな節目となる全日本官公庁剣道大会が東京武道館において開催されますことは、この上ない喜びであります。

全日本官公庁剣道連盟が設立された昭和44年に、第1回全日本官公庁剣道大会が東京において開催されて以来、今日まで毎年実施され本年第50回を迎えることができました。これもひとえに歴代会長をはじめとする諸先輩並びに現職関係各位の並々ならぬご尽力の賜物と改めて深く敬意を表するものであります。

全日本官公庁剣道連盟は、プログラムにあるとおり、第二代会長を務められた山崎高先生が残された、「天鑑無私」（天に鑑み私無し：天道に照らし合わせ、決して私心を以て事にあたらない）を連盟のコンセプトとして今日まで活動してまいりました。

皆さんは、公務員として、頻発する大規模地震や集中豪雨などの自然災害、国家・国民の安全を脅かす事件・事故及び膨大かつ広範多岐にわたる行政への対応等大変厳しい環境の中、このコンセプトを十分に理解しつつ、寸暇を惜しんで剣道を続けておられることと思いますが、その剣道で培った気力、体力、決断力、実行力そして豊かな人間性が必ずや職務に活かされているものと確信しております。

本日は日頃の練習の成果を十分に発揮され、正々堂々悔いのない試合が展開されることを祈っております。

このたび、第50回という本大会を記念して、新たに優勝旗を作製致しました。各団体ともこの優勝旗に新たな歴史を刻むべく大いに頑張ってくださいと思います。

終わりに、本大会の開催にあたり、ご後援をいただいております全日本剣道連盟並びに東京都剣道連盟に対し心から感謝の意を表しますとともに、審判の労を取っていただく先生方並びに大会運営にご協力いただきます関係各位に深く敬意を表し挨拶といたします。

## 祝 辞

一般財団法人 全日本剣道連盟  
会長 張 富士夫

この度、第50回記念全日本官公庁剣道大会が東京武道館において盛大に開催されるに当たり、お祝いを申し上げます。

主催の全日本官公庁剣道連盟は、昭和44年に結成されて以来、官公庁ご出身の先生方のご尽力により組織され、今日に至っております。また、多忙な日常を送っておられる選手の皆さまが、寸暇を割いて剣道の修練を続けておられることに敬意を表するとともに、その交流の場としての大会の開催をお慶び申し上げます。

剣道を通じて心身を錬磨しつつ、日常の活動に成果を挙げておられることは、社会的にも期待されるところであり、文武両道にわたるご精進をお願いいたします。

剣道の狙いは、心身を鍛え自己の修練に努める人間を育てることにありますが、公的な立場である皆さまが剣道へご精進いただくことは、皆さまの持つ、各方面への社会的影響力からして、剣道の普及発展のために、まことに有り難いことでもあります。

本日ご出場の選手諸君は、各分野の代表として、日頃の修練の成果を発揮され立派な試合を展開して下さい。また、この機会に多くの剣士と交流を深めると共に、生涯剣道をめざして努力されるための、貴重な経験を得られることを希望いたします。

最後に長い歴史をもつこの大会が、参加者各位の日常の修練の成果を発揮される場として立派に開催され、さらに今後も意義ある大会として発展されることを祈念し、祝辞といたします。

## 大会を祝して



一般財団法人東京都剣道連  
会長 千葉 胤 道

このたび、節目となる「第50回記念全日本官公庁剣道大会」が、ここ東京武道館において官公庁剣士の精鋭が参集し、全日本官公庁剣道連盟主催のもとに、盛大に開催されますことを東京都剣道連盟一同、心から歓迎し祝福を申し上げます。

貴連盟は「剣道を通じて会員相互の親睦を図り、剣道の研鑽に努め、人格の陶冶と心身の鍛錬を行い、我が国古来の剣道の諸徳を養い、社会の進展福祉に寄与する事」を目的に昭和44年(1969年)4月1日に設立されました。爾来49年が経ち、先達のご奉仕とご努力によって、現在の剣道界中核的な連盟として継承されていることに深く敬意を表します。

本大会は出場される選手の皆様により、熱い戦いが繰り広げられると思います。日頃修練された稽古の成果を存分に発揮され、気迫に満ちた内容の良い試合を展開されるとともに大会を通して相互の交流を図り、親睦を深め、心に残るすばらしい大会になることを願っております。

2020年には「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催が予定されており、日本選手団の活躍が期待されています。現在、国際剣道連盟には59ヵ国地域が加盟していますが、これを期に世界の方々に日本の伝統文化である

「剣道」の良さを知っていただき、世界各国に剣道が更に普及することを望んでいます。

結びに、本大会の開催にご尽力、ご協力された関係各位に敬意と感謝を申し上げますとともに、貴連盟の益々の発展と会員皆様のご活躍を心から祈念して祝辞といたします。

# 試合実施要項

- 1 試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則及び同細則により行う。
- 2 個人戦の試合  
試合は、3分間3本勝負とする。  
時間内に勝敗が決しない場合は、2分間の延長戦を行う。  
延長戦でも勝敗が決しない場合は、判定により勝敗を決する。  
○但し、決勝戦の延長は、時間を区切らず勝敗の決するまでとする。
- 3 団体戦の試合  
試合は、3分間3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。  
勝敗は、勝者の多い方を勝ちとする。  
勝者数が同数の場合は、総本数の多い方を勝ちとする。  
総本数が同数の場合は、代表者戦によって勝敗を決する。  
代表者戦は、3分間1本勝負とする。時間内に勝負が決しない場合は、2分間の延長戦を行う。  
延長戦でも勝敗が決しない場合は、判定により勝敗を決する。  
○但し、決勝戦の代表者戦は、時間を区切らず勝敗の決するまでとする。  
  
「判定」による勝敗は、技能の優劣を優先し、次いで試合態度の良否とする。
- 4 試合順序  
個人戦男子の部、続いて女子の部を決勝まで行なう。（3位決定戦は行なわない）  
個人戦が終了した会場は、団体戦に入る。  
ただし、進行担当が調整し試合会場の変更を行なう場合はその調整に従う。
- 5 試合時間により、昼食時間は設けないので各自調整してとること。

## 【競技役員を担当内容】

- 1 大会統括……………来賓・招待者のおもてなし。式典全体をつかさどり会場総務係を掌握する。
- 2 大会総務担当……………大会全体の進行を担当する。受付部門、選手変更、記録係を掌握する。
- 3 大会管理担当……………大会開催中の場内管理、救護・救急等安全面を担当（救急車は、武道館から要請）し、大会完了を東京武道館に報告する等、連絡調整に当たる。
  - (1) 会場総務係……………各試合会場の試合の進行を管理し、大会総務担当と連携する。
  - (2) 選手受付・入場係……………各団体の受付、プログラム等の配布及び大会総務係・選手変更係に参加状況を報告する。  
入場担当は、鞆袋、武道館駐車券の配布を担当する。
  - (3) 選手変更受付係……………変更申込書の内容を確認し、各試合会場に連絡するとともに、記録係と連携する。
  - (4) 試合会場係……………選手の点呼・確認、目印(たすき)の着脱、計時等試合の円滑な運営に努め、成績等を記録係に報告する。
  - (5) 記録係……………各試合の記録を総括、整理保存する。各種別ごとの表彰者を筆耕係に提出する。
  - (6) 会場管理係……………大道場への選手以外の入場を規制する。定期的に巡視し、会場内の安全チェック、盗難防止、ゴミの処理状況等を管理する。
  - (7) 救護係……………けが人等の発生時に速やかに応急措置を行い、大会管理担当と連携し救急対応する。
  - (8) 接待係……………昼食時に弁当の配布及び湯茶の提供を行うほか、随時、役員控室で接待を担当する。

# 大会プログラム

- 1 開会式 (9:20~)
- (1) 開 会 の 辞
  - (2) 国 歌 斉 唱
  - (3) 優 勝 杯 返 還
  - (4) 会 長 挨 拶
  - (5) 御 来 賓 挨 拶
  - (6) 審 判 長 説 示
- 2 特別演武 (9:40~) \*説明は、P9を参照してください。
- ① 直心影流法定之形
  - ② 日本 剣道 形
- 3 試 合 (10:05~) P10~15
- (1) 個人試合 ①男子の部 ②女子の部
  - (2) 団体試合 (11:40~)
- 4 閉会式 (17:00~)
- (1) 成績発表・表彰式
  - (2) 閉会 の 辞

\* ( )内の時間は、目安です。試合進行により前後しますのでご注意ください。

## 御来賓

東京都剣道連盟会長 千葉胤道  
 剣道範士八段 篠塚増穂

元警視總監 伊藤哲朗

## 大会役員

大会々長	江 藤 兵 部
大会副会長	小 俣 明 二
同上	佐 藤 春 雄
同上	宮 崎 良 治
大会委員長	安 部 壽 和
大会副委員長	谷 口 茂 樹
兼総務委員長	
大会副委員長	伊 東 功
総務副委員長	宮 原 忍
大会参与	伊 藤 博
同上	前 島 七
同上	杉 田 明
同上	吉 井 新
同上	猿 渡 知
同上	林 直 人

## 大会委員

指 導 員	原 嶋 茂 樹
同上	大 塚 尚 弘
同上	横 内 良 道
同上	永 松 教 一
事務局次長	森 本 野 寿
同上	池 之 野 文 竜
衆議院	杉 宇 山 一 祥
東京自衛隊	野 崎 口 木 美 徳
東京国税局	野 崎 口 木 孝 若
東京消防特別	野 崎 口 木 志 行
日本郵政(監事)	野 崎 口 木 昭 和
東京市町労働省	野 崎 口 木 義
日本郵政(監事)	野 崎 口 木 義
東京都庁	野 崎 口 木 義

# 大会審判員

審判長 田原弘徳

\*○印は、主任

## 【第一試合場】

○ 岡野 薫  
坂口 末  
寺地 賢  
東嶋 忠  
濱田 直  
大山森 俊  
永原 清

## 【第二試合場】

○ 塚本 博  
五十 嵐 孝  
武藤 一  
森山 正  
吉田 圭  
和伊 雄  
伊浅 勇

## 【第三試合場】

○ 松中 吉 進  
笹下 明 人  
三村 川 文  
飯田 一 貴  
江島 和 己  
村崎 秀 彦  
三宅 正 博

## 【第四試合場】

○ 武田 康  
石井 基  
平尾 猛  
草野 泰  
山河 新  
河村 美  
久

## 【第五試合場】

○ 原嶋 茂  
恩雨 浩  
田宮 尚  
渡口 昌  
金内 好  
渡邊 忠  
金内 重  
村良

## 【第六試合場】

○ 大塚 尚 弘  
今山 濱 二  
山貞 雄  
遠方 美 知  
大藤 清  
櫻卷 直  
井 實

## 【第七試合場】

○ 横内 良  
坂田 敏  
永原 博  
吉田 道  
貞相 昌  
島良 道  
道昌 浩  
道孝 孝

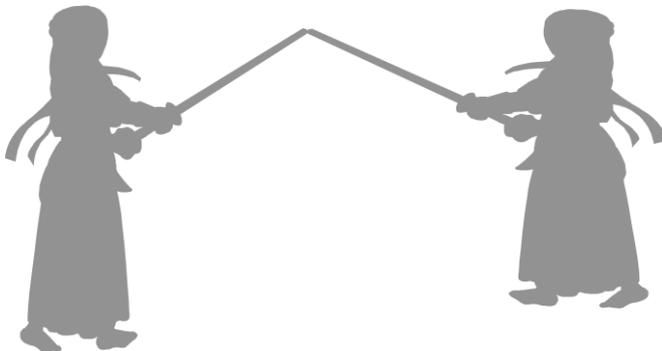
## 【第八試合場】

○ 永松 教  
岩佐 英  
加藤 喜  
山藤 正  
竹口 重  
竹田 木  
大菊 地 寿

## 【進行担当】参考

(1・2会場) 田 辺 直  
(3・4会場) 浦 瀬 真 和  
(5・6会場) 松 崎 貞 二  
(7・8会場) 澤 野 一 雄

進行担当は、各会場の進行状況を管理し本部会場総務と連携を図り、試合進捗に応じ試合場の変更調整を行う。  
変更が生じた場合、審判主任との調整も行なう。



# 競 技 役 員

大会 統括 安部 壽和 (防衛省)  
 大会 副統括 谷口 茂樹 (東京都庁)  
 大会 総務担当 伊東 功 (東京消防庁)  
 大会 管理担当 宮原 忍 (東京特別区)

\*○印は、主任

## \* 第一次 (大会前)

### 【審判会議総務】

- 伊東 功 (東京消防庁)
- 宮原 忍 (東京特別区)
- 浦瀬 真和 (日本郵政)
- 前田 達也 (東京自衛隊)

### 【役員・審判受付係】

- 草野 新 (東京自衛隊)
- 村上 和彦 (同上)
- 貞方 美知雄 (同上)
- 山村 俊朗 (同上)

### 【会場係員受付係】

- 森本 一夫 (東京自衛隊)
- 河野 繁夫 (同上)

### 【選手受付・変更係】

- 川上 義幸 (葛飾区役所)
- 長妻 正美 (同上)
- 鈴木 茂晴 (同上)
- 池田 行彦 (同上)

### 【選手入場・駐車券担当】

- 齊藤 章弘 (葛飾区役所)
- 出間 勇雄 (協賛)
- 池之野 真 (農林水産省)
- (選手誘導)

## \* 第二次 (大会時)

### 【会場総務係】

- 森本 一夫 (東京自衛隊)
- 河野 繁夫 (同上)
- 池之野 真 (農林水産省)
- 前田 達也 (東京自衛隊)
- 熊田 真也 (同上)
- 牧原 幸太 (同上)

### 【進行担当】

- 田辺 直 (東京都庁)
- 浦瀬 真和 (日本郵政)
- 松崎 貞二 (厚生労働)
- 澤野 一雄 (東京自衛隊)

### 【会場管理係】

- 飯島 光雄 (日本郵政)
- 阿部 孝治 (同上)
- 佐藤 浩志 (東京都庁)
- 生沼 正英 (同上)
- 桜庭 阿恵 (協賛)
- 山本 隆司 (同上)

### 【記録係】

- 川上 義幸 (葛飾区役所)
- 長妻 正美 (同上)
- 齊藤 章弘 (同上)
- 鈴木 茂晴 (同上)
- 池田 行彦 (同上)
- 出間 勇雄 (協賛)

### 【接待係】

- 谷口 由美子 (事務局)
- 谷口 真樹 (東京消防庁)
- 森 美桜 (東京自衛隊)
- 大西 由美子 (同上)

### 【救護係】 (救命士)

- 追田 健一 (東京消防庁)
- 加藤 宏之 (同上)

### 【筆耕係】

- 徳竹 良男 (東京都庁)

### 【試合会場係】

#### 第一試合場 (東京消防庁)

- 八巻 徳禎 原本 聖史郎
- 志村 光 高橋 駿介
- 香積 正悟 山邊 和男

#### 第二試合場 (東京拘置所)

- 在本 愁作 大塚 尚文
- 吉田 健児 梅田 修
- 上之園 大樹 佐藤 俊一

#### 第三試合場 (関東自衛隊)

- 宇野 文祥 綾部 隆浩
- 長迫 篤史 泉本 直彦
- 紺野 弘典 岩元 将孝

#### 第四試合場 (東京都庁)

- 佐藤 雄才 恒川 広太
- 小田嶋 厚治 田村 準樹
- 坪川 聡一郎 渡邊 百絵

#### 第五試合場 (日本郵政)

- 藪田 貴志 田中 秀和
- 高橋 露 白石 錬
- 白谷 征也 岩山 一暘

#### 第六試合場 (東京特別区)

- 大場 修 田野 邊薫
- 田中 裕紀子 酒井 悠希
- 高橋 駿介 松田 和晃

#### 第七試合場 (東京市町村)

- 曾我 宣之 龍浦 大介
- 野口 直人 女屋 仁美
- 五十嵐 辰也 浦辻 亜美

#### 第八試合場 (東京国税局他)

- 安心 院実 藤丸 志保
- 奥田 佳奈 高橋 駿介
- 内田 悠介 向後 正樹
- (日本郵政) (特別区)

# 日本剣道形

(演武者)

打太刀 範士八段 田原弘徳

宮本武蔵顕彰武蔵武道館名誉館長

仕太刀 教士八段 岡野薫

警視庁OB

## 「官公庁剣道大会での古流演武」

平成20年11月第40回記念官公庁剣道大会の企画として、法定、五行之形を披露してから現在まで各古流関係者のご協力のもとに、継続して裂帛の気合や妙技を披露している。

演武者に感謝しながら平成30年度は、直心影流法定之形を演武する。

また、第50回記念大会大会として日本剣道形を田原範士八段、岡野教士八段にに演武していただくことが実現して官公庁剣道連盟として感謝と感激で一杯です。

## 【直心影流法定之形】

法定の教えは、呼吸法、太刀筋、気合、間合、運足などを学ぶところに大きな特徴がある。形は「八相発破」「一刀両断」「右転左転」「長短一味」の四本からなる。

一本目「八相発破」・・・春季発陽の伸び伸びとした氣勢で発し破る事を勧める。

二本目「一刀両断」・・・夏季炎天、焼くが如き猛烈の気合を全身に充実させ、間髪を容れない勢いを勧める。

三本目「右転左転」・・・秋季肅殺の氣勢(厳しく草木を枯らす)で、無窮の変化を勧める。

四本目「長短一味」・・・冬季陰蔵に象り、精神の昇降自在を内修し、業は最も静かに勧める。

(演武者)

打太刀 松本信一 (筆禅会)

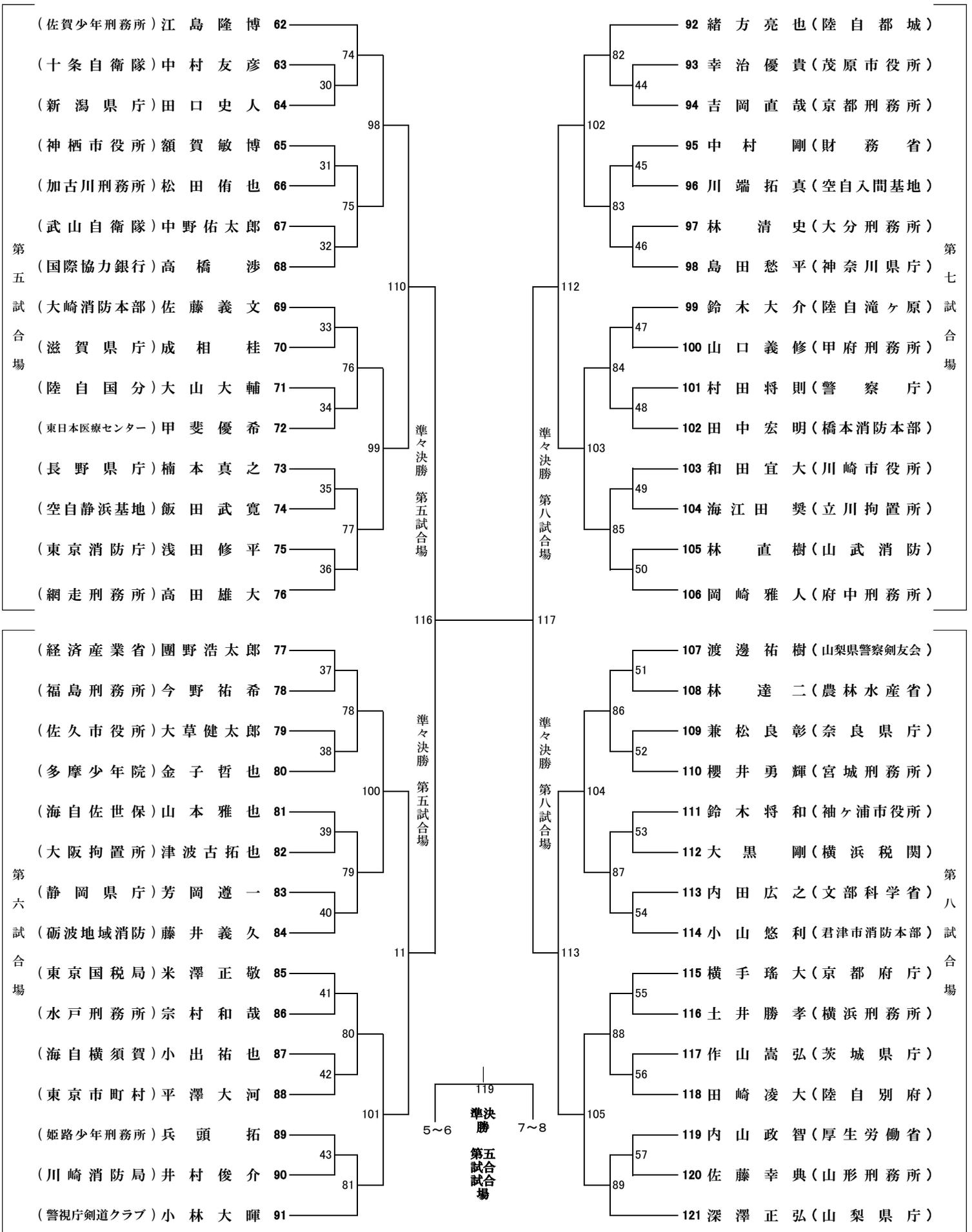
直心影流を晩年の大森曹玄宅、高歩院にて寺山且中先生の指導を受け同様に書を筆禅会にて学ぶ。

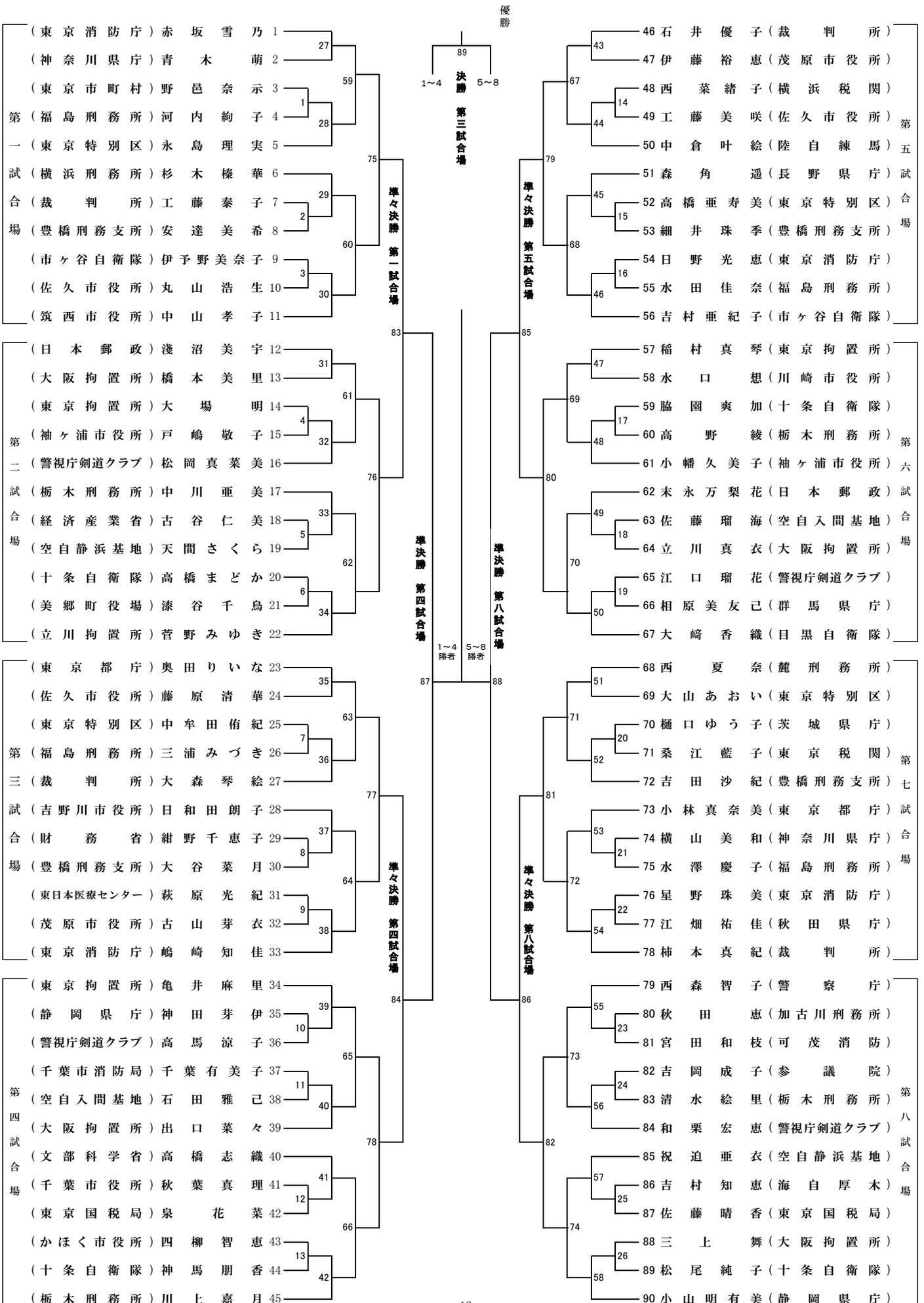
仕太刀 教士七段 谷口茂樹 (都庁)

直心影流法定之形、五行の形を、東京武道館にて加藤浩二範士八段の指導を受ける。

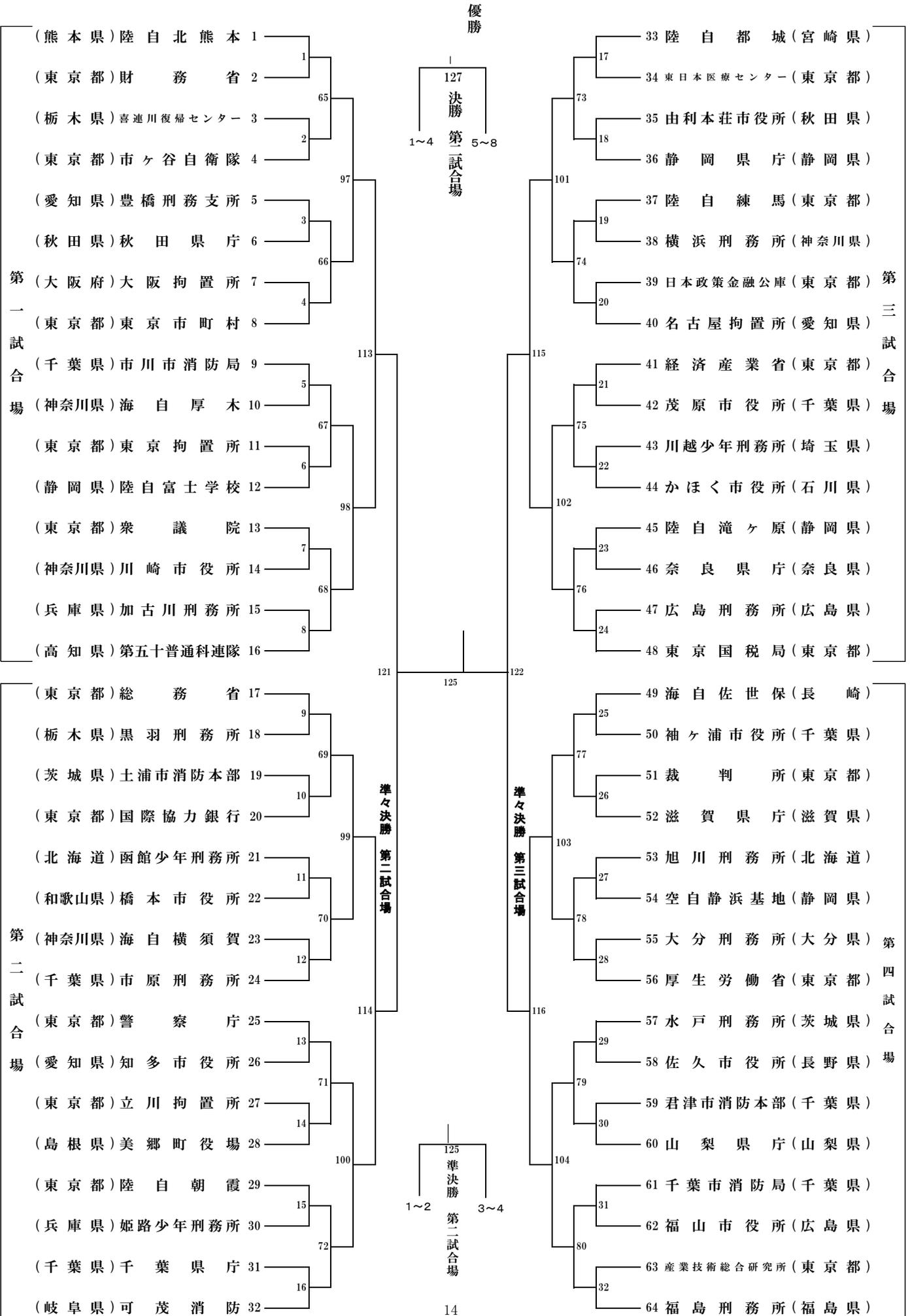


男子個人の部 No.2

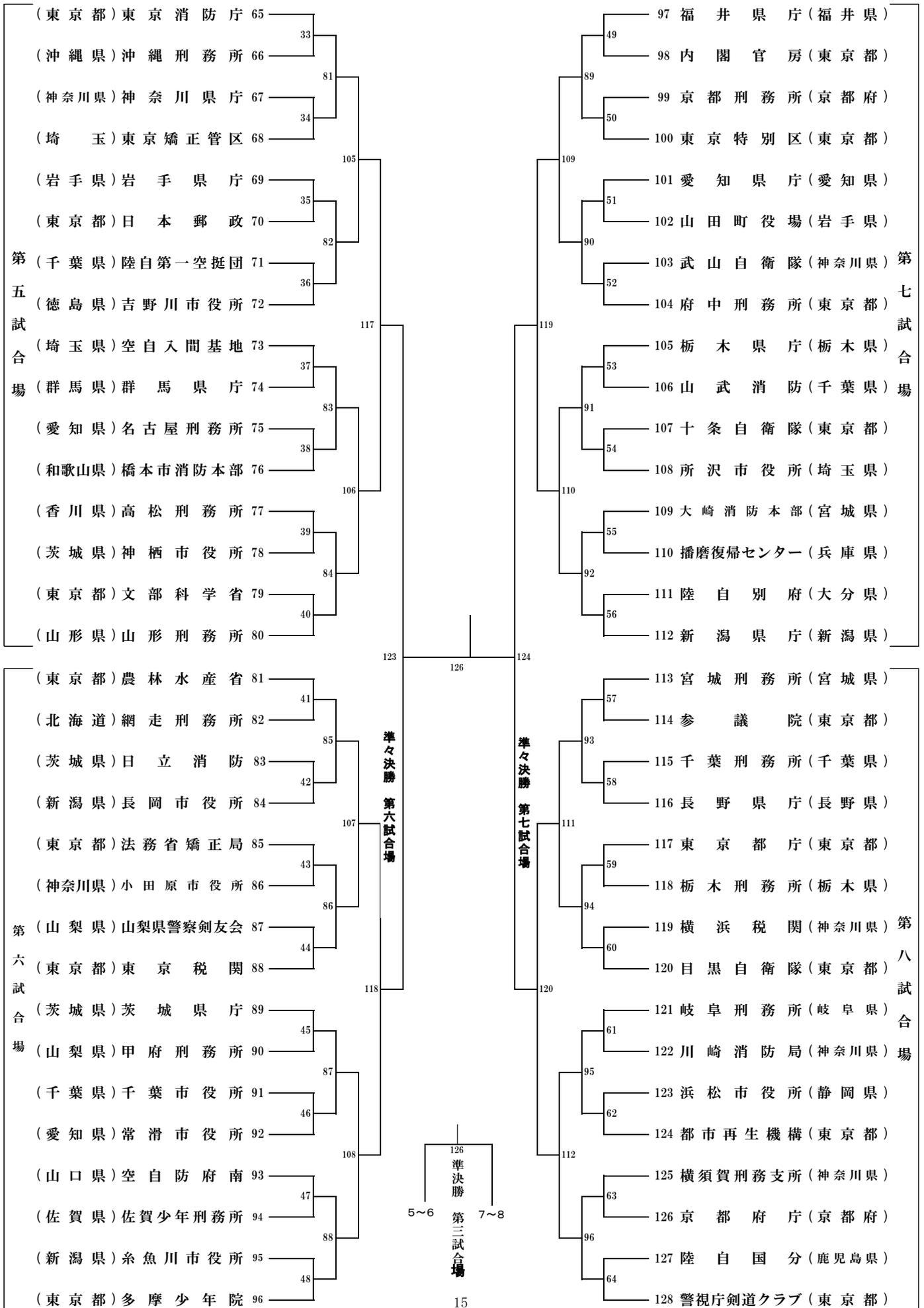




団体の部 No.1



団体の部 No.2



団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
1陸自北熊本	氏名	佐藤宏樹	小原京平	井上裕介	齋藤聖彦	杉下尚悟	9市川市消防局	氏名	小川圭祐	高橋潤	山田洋次	井上秀吾	土屋俊憲	17総務省	氏名	松本浩典	中山貴洋	中井幹晴	猿渡知之	大迫幹生	25警察庁	氏名	松浦大	中島慎介	今岡学	黒木剛	嶺公司
	段	四	五	六	四	五		段	五	五	六	六	六		段	四	五	四	五	六		段	六	五	六	五	七
2財務省	氏名	上俊太郎	柴崎勇人	吉崎正弥	中村剛	阿部浩明	10海自厚木	氏名	瀬川太一	園田裕介	柏崎顕士	村岡重貴	名取公彦	18黒羽刑務所	氏名	繁田拓明	渡部秀和	荒牧旭	福田貴洋	小柴啓一	26知多市役所	氏名	牧浩幸	杉江麻衣	早川康裕	橋本大嗣	瀧本典史
	段	三	三	四	五	五		段	三	三	五	五	六		段	四	四	五	五	五		段	四	四	四	三	五
3喜連川復帰センター	氏名	千島彰展	横山陽平	千島知浩	渡會保志成	手塚献徒	11東京拘置所	氏名	佐藤匠	村瀬達也	岩瀬卓也	八木大地	藤朋巳	19土浦市消防本部	氏名	平山正樹	紫原均	堀越一良	嶋田正夫	中野雅文	27立川拘置所	氏名	稲垣哲也	戸村卓見	高橋一馬	柏木真宙	別井一行
	段	四	三	五	四	六		段	四	四	五	四	五		段	初	初	五	六	七		段	四	四	五	四	五
4市ヶ谷自衛隊	氏名	萬代佳裕	吉村亜紀子	伊代野美奈子	濱崎晃礼	今村幸一郎	12陸自富士学校	氏名	渡辺謙介	渡部陽介	伊藤通将	奥山慧太	小林博行	20国際協力銀行	氏名	高橋涉	中村智	中島裕行	中野有貴	吉田愁輝	28美郷町役場	氏名	石田啓朗	道下優大	漆谷瑛介	漆谷暢志	倉橋秀成
	段	五	四	五	五	六		段	三	四	六	五	六		段	三	三	三	四	四		段	四	二	二	三	二
5豊橋刑務支所	氏名	細井珠季	河野亜有美	大谷菜月	安達美希	吉田沙紀	13衆議院	氏名	藤川智也	川野玲	阿知波尚登	小川隼人	阿部勝太	21函館少年刑務所	氏名	木村佳希	寺島彰平	立花知之	佐藤洋	丸田翔太郎	29陸自朝霞	氏名	庄司貴洋	西貴太	林奨	佐藤進	緒方辰徳
	段	三	三	三	三	五		段	四	三	四	五	五		段	五	五	七	七	五		段	四	四	四	五	五
6秋田県庁	氏名	麻田征爾	今野緑朗	佐藤賢人	伊藤征司	森内厚志	14川崎市役所	氏名	森本健介	姫野覚哉	和田宜大	村田宋一郎	辻亮水	22橋本市役所	氏名	阪部辰吉	三浦康広	宮城孝士	柴田浩康	吉田憲治	30姫路少年刑務所	氏名	兵頭拓	大達諭	福岡朋憲	中原良平	後藤良樹
	段	四	四	五	五	七		段	三	四	五	三	四		段	三	六	六	六	七		段	三	三	四	五	六
7大阪拘置所	氏名	蓮井寿宗	池田誠司	今井祥太	川上正悟	谷中達紀	15加古川刑務所	氏名	永田和樹	松本翔貴	中谷有希	白々達朗	山里浩司	23海自横須賀	氏名	小出祐也	上条勝己	高岸祐太	高橋秀昇	佐々木真二	31千葉県庁	氏名	伊藤夢規	宮澤利幸	石井豎也	金子義和	関谷大輔
	段	三	四	四	四	四		段	四	五	六	六	六		段	五	三	三	五	六		段	三	三	四	四	五
8東京市町村	氏名	小出誠一郎	中山諒	井上和也	平澤大河	森田慶人	16第五十普通科連隊	氏名	上岡祐太	竹内大介	三原大和	櫻木雄一郎	小川直希	24市原刑務所	氏名	津田翔	横木剛	原輝幸	内海貴義	高山優太	32可茂消防	氏名	高橋利和	宮田和枝	干場國弘	藤井紀幸	林幹雄
	段	三	三	五	五	六		段	五	五	五	五	六		段	四	四	五	三	五		段	三	四	三	五	二

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
33陸自都城	氏名	中原啓佑	黒田康平	長友龍星	坂口達也	北村謙典	41経済産業省	氏名	庄剛矢	原貴彰	中山陽輔	白井貴之	海野将司	49海自佐世保	氏名	松下祐哉	山本雅也	林健人	平田駿	鎌田将史	57水戸刑務所	氏名	龍福巧	鈴木一成	宗村和哉	綿引佳	横山滋信
	段	三	四	三	三	五		段	四	四	五	五	四		段	三	三	三	四	六		段	四	三	五	五	四
34東日本医療センター	氏名	伊野一樹	湯浅鼓太郎	児玉涼輔	野中信弥	黒崎雄生	42茂原市役所	氏名	古山芽衣	板倉直人	田中和志	神馬洋	幸治優貴	50袖ヶ浦市役所	氏名	三浦崇幸	川崎弘充	鈴木将和	小倉康嗣	小幡勉	58佐久市役所	氏名	大草健太郎	工藤美咲	丸山浩生	藤原清華	佐藤俊之
	段	五	四	四	五	五		段	三	二	二	二	三		段	二	二	二	二	三		段	二	二	二	三	三
35由利本荘市役所	氏名	小野佑介	神坂文康	菊地大將	鎌田将司	金澤英明	43川越少年刑務所	氏名	土田卓	木口響太	原田英補	西田翔太	原田政典	51裁判所	氏名	人見和幸	高岸史弥	小船和紀	柳田英	秋葉雄一郎	59君津市消防本部	氏名	金網聡	山本駿	須藤涼太	大野翔平	熊谷光宏
	段	三	四	四	三	六		段	四	四	四	五	五		段	三	五	五	五	六		段	五	三	四	五	七
36静岡県庁	氏名	若山文哉	中川裕登	田中誉久	芳岡尊一	植田達志	44かほく市役所	氏名	野村和寿	笹山明夫	松原宏明	北井淳之輔	小村登志也	52滋賀県庁	氏名	川浪祐太	山田直明	成相桂	太田宏生	林章	60山梨県庁	氏名	金丸清文	遠藤由樹	渡邊文昭	早川一也	小林義仁
	段	二	四	五	六	五		段	二	四	六	六	七		段	二	二	三	三	五		段	五	五	五	五	六
37陸自練馬	氏名	高橋憧	笠間一瑳	山中俊樹	中村春樹	児島義久	45陸自滝ヶ原	氏名	若月翔	吉村佳祐	鈴木大介	釘尾慎也	黒田好一	53旭川刑務所	氏名	坂本龍太郎	三浦正敬	千徳宏次朗	林敬右	中島晃太	61千葉市消防局	氏名	江口俊兵	小幡僚太	天野潤	小幡頌太	佐藤晃士
	段	三	三	四	三	五		段	三	四	五	四	三		段	四	五	五	六	四		段	三	四	三	五	三
38横浜刑務所	氏名	山本庄二	香田真人	濱畑賢人	大塚康裕	嶋村駿	46奈良県庁	氏名	岡崎篤史	竹之内耀大	辻本昌宏	兼松良彰	戸瀬信一	54空自静浜基地	氏名	北原聡明	祝迫亜衣	飯田武寛	矢内訓	松田弘巳	62福山市役所	氏名	網田兼	石井克弥	中山翔平	上堀康介	光本大作
	段	四	四	四	五	五		段	四	二	五	六	二		段	初	四	四	三	六		段	三	三	三	五	七
39日本政策金融公庫	氏名	佐野竜一	神谷努	佐藤友樹	関健作	畑邊稔	47広島刑務所	氏名	中村幸輝	七夕亮之	澤田春樹	本間建成	長門哲太	55大分刑務所	氏名	前原拓朗	和佐野仁宣	吉村浩二	栗山慎平	徳部大地	63産業技術総合研究所	氏名	牧野良次	佐藤洋	中西正和	依田智	木原秀元
	段	三	五	四	六	五		段	四	四	四	四	五		段	四	五	五	四	五		段	三	五	六	六	六
40名古屋拘置所	氏名	浅田裕樹	青山侑太	佐々木富弥	笠原涼平	近藤量仁	48東京国税局	氏名	江隈勇樹	佐藤晴香	又吉晃史	成川陽一	鈴木力	56厚生労働省	氏名	米田裕和	城代昌幸	井上誠一	神吉史享	内山政智	64福島刑務所	氏名	佐藤信二	渡部綾也	星見翔太	河内直樹	森脇一馬
	段	四	四	五	四	五		段	二	三	三	四	四		段	三	四	四	五	五		段	四	三	四	四	四

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
65東京消防庁	氏名	佐々木智明	須崎和也	宮崎祐太郎	高橋致崇	吉田拓矢	73空自入間基地	氏名	川端拓真	梅崎卓	中村公信	日田樹男	熊谷寿洋	81農林水産省	氏名	北村諒	小川一人	岩田隆典	池之野真	樋渡公愛
	段	五	五	五	五	六		段	三	三	五	五	六		段	二	三	四	五	五
66沖縄刑務所	氏名	桃原竜矢	前村寿輝	森田安人	友利明博	山口隼人	74群馬県庁	氏名	澁川計介	内山大樹	宮下雄基	鈴木崇之	板井努	82網走刑務所	氏名	近藤浩	赤塚和志	沖田雅大	高田雄大	齊藤亨輔
	段	四	四	四	六	五		段	二	四	三	三	六		段	五	四	五	五	六
67神奈川県庁	氏名	吉村正樹	宇佐美慧	森祐輝	武川充明	島田悠平	75名古屋刑務所	氏名	牧野健太	荒木晃太郎	海野祐介	鈴木理規	新美敬介	83日立消防	氏名	照沼満尚	山形裕哉	石川善大	相田裕二	海野佑介
	段	四	四	四	五	四		段	五	四	五	六	五		段	二	四	三	三	五
68東京矯正管区	氏名	古瀧孝明	北條涉	田内竜太	岸裕樹	中林保雄	76橋本市消防本部	氏名	浦尾颯樹	田中宏明	森雄也	織田真治	坂部一未	84長岡市役所	氏名	久住一真	島田拓也	早川篤史	小林剛	酒井仁
	段	二	三	三	三	四		段	三	三	四	六	六		段	四	三	三	六	七
69岩手県庁	氏名	久保田匠	菊池雅樹	菊池英史	島山紀智	高橋利明	77高松刑務所	氏名	吉田智	須浪祥慎	西岡龍志	岩雲祥吾	松永啓志	85法務省矯正局	氏名	佐藤祐一郎	荏雅行	今橋知宏	岡田小糸	加賀沢淳二
	段	三	二	四	四	七		段	五	四	四	四	四		段	二	二	四	四	六
70日本郵政	氏名	小笠原雄太	細井良介	大坪優太	浅野太志	大村径	78神栖市役所	氏名	木本裕文	村田光	金井諒	飯野英樹	寺島清志	86小田原市役所	氏名	中川龍之介	高梨善満	武藤拓	菅原清仁	松島俊輔
	段	四	三	三	五	六		段	三	五	五	五	七		段	四	四	四	四	六
71陸自第一空挺団	氏名	沖中拓海	海川疾風	田上龍太郎	寺園隆寛	上水流圭祐	79文部科学省	氏名	中川明憲	花田大作	松田賢一郎	吉岡路	萩野雅裕	87山梨県警察剣友会	氏名	亀谷優一郎	芦沢貢	堀内隆二	田中君典	野村雄一郎
	段	三	四	四	四	吾		段	五	五	六	六	六		段	六	六	六	六	六
72吉野川市役所	氏名	岡田洋典	日和田朗子	住友英志	海北勝弘	日和田滋海	80山形刑務所	氏名	佐藤圭吾	澁谷樹	滝口翔平	槇成俊	渡部玲	88東京税関	氏名	藤田滋成	半澤貴紀	郷司大介	廣島朋輝	高田優
	段	初	五	初	三	六		段	四	四	四	六	五		段	三	五	五	五	六
89茨城県庁	氏名	吉村省悟	中澤侑磨	飯塚淳一	佐竹裕哲	石井貴	90甲府刑務所	氏名	中島武	山口義修	田中信吾	飯野有紀	長尾進治	91千葉市役所	氏名	秋葉真理	杉山彰孝	日野正仁	葛西博文	詫磨浩久
	段	三	四	六	六	六		段	四	四	五	六	五		段	三	五	五	四	六
90甲府刑務所	氏名	中島武	山口義修	田中信吾	飯野有紀	長尾進治	92常滑市役所	氏名	佐竹利規	稲葉泰輔	米田英司	小林祐輔	浜崎博充	93空自防府南	氏名	板井晟一	杉本昂将	矢野希	山本聖矢	藤井秀平
	段	四	四	五	六	五		段	三	四	二	六	五		段	四	三	四	四	四
91千葉市役所	氏名	秋葉真理	杉山彰孝	日野正仁	葛西博文	詫磨浩久	94佐賀少年刑務所	氏名	宮崎啓佑	江島隆博	石橋拓典	前田隆之	中島健太	95糸魚川市役所	氏名	山岸将也	岡田一真	白澤裕之	作本雅之	伊藤修
	段	三	五	五	四	六		段	四	五	四	五	六		段	三	五	四	六	七
92常滑市役所	氏名	佐竹利規	稲葉泰輔	米田英司	小林祐輔	浜崎博充	96多摩少年院	氏名	金子哲也	曾和浩	森川洋一	木村真一	高橋新之助							
	段	三	四	二	六	五		段	四	初	五	六	七							

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
97福井県庁	氏名	丸山勝弘	林大樹	寺木亮人	前田嘉一	志尾武章	105栃木県庁	氏名	増山智也	柴田裕康	篠原祐司	藤沼誠人	濱田勉	113宮城刑務所	氏名	石川裕人	齋藤拓也	門脇匠	南谷樹	小沼悠	121岐阜刑務所	氏名	大橋賢也	加藤竜祥	飯塚奏一	長田康弘	山村直人
	段	二	三	四	四	五		段	二	三	三	四	五		段	三	五	五	五	六		段	四	四	四	三	四
98内閣官房	氏名	原純一	田岡知樹	古賀幸晴	星禎彦	関口啓一	106山武消防	氏名	長谷川達哉	梶ヶ谷正人	林直樹	小川剛史	黒木幹大	114参議院	氏名	嵯峨野彰彦	山本航平	間々田実周	石川智久	堀越竜矢	122川崎消防局	氏名	尾崎一雄	畑澤健士	平田雄也	柳勇太	井村俊介
	段	五	三	五	五	七		段	四	三	二	五	六		段	三	三	四	四	五		段	三	三	三	五	四
99京都刑務所	氏名	中田洸亮	山中勇人	小橋亮介	久保翔太	笠井雄太	107十条自衛隊	氏名	江藤大宋	山村浩秋	徳岡義文	中村友彦	小幡悟史	115千葉刑務所	氏名	新井基生	松嶋嘉仁	楨貢	浦悠記	縄田隆次	123浜松市役所	氏名	本多宏充	加藤耕平	勝部慎一	村木正法	森信也
	段	四	五	五	六	六		段	五	六	五	六	六		段	四	三	四	四	五		段	三	三	三	六	六
100東京特別区	氏名	北龍悟	木戸崇裕	宮崎正	青木康和	清水遼	108所沢市役所	氏名	山田龍	小峯智彦	山本浩平	横村淳一	落合健矢	116長野県庁	氏名	西沢敏矩	柳沢満	石井信幸	西沼敏宏	小林昌史	124都市再生機構	氏名	大浦悠	小松原茂	藤井正幸	石戸孝行	伊藤康行
	段	四	四	五	五	四		段	四	四	四	五	五		段	四	四	五	七	六		段	三	五	六	六	七
101愛知県庁	氏名	内藤顕一	加藤崇弘	山口貴大	木村誠	三上哲人	109大崎消防本部	氏名	工藤大和	佐藤義文	早坂淳	早坂成記	田村雄一郎	117東京都庁	氏名	宮永匠平	宮崎岳	東出唯志	高野朋紘	森洋樹	125横須賀刑務支所	氏名	皆川卓磨	山口正道	五十嵐将之	西村英倫	福島直樹
	段	四	四	三	二	六		段	四	四	五	四	七		段	四	四	四	四	五		段	五	六	六	四	三
102山田町役場	氏名	及川智弘	黒澤貴	花崎和博	昆省吾	田畑作典	110播磨復帰センター	氏名	安藤昂貴	鳶恵資	松田英治	新家裕	水井聡	118栃木刑務所	氏名	根本樹	中川真維	生井茜	池沼優奈	森田万弥	126京都府庁	氏名	小野崎翼	横手瑤大	高嶋秀	久島啓紀	田中邦彦
	段	四	三	五	六	七		段	四	四	六	五	七		段	四	三	二	四	四		段	三	四	四	五	六
103武山自衛隊	氏名	古賀寿	中野祐太郎	川合慎一	海平正博	古市大剛	111陸自別府	氏名	小野大輝	竹井恵太	有村亮介	米田志穂	太誠真祐	119横浜税関	氏名	松本啓助	大黒剛	井下譲司	田村哲久	米田真路	127陸自国分	氏名	桜井竜之介	石塚真悟	岩屋昇汰	稲田健一	瀧山健太
	段	四	五	六	五	六		段	二	四	四	四	五		段	三	四	五	五	六		段	三	四	五	三	六
104府中刑務所	氏名	高木裕生	市川篤史	嶋村聡	磯貝和亮	池西無我	112新潟県庁	氏名	富樫雅光	石川成明	名古屋翼	斎藤裕	伏見重雄	120目黒自衛隊	氏名	石川大輔	松山賢太郎	丹羽雅士	鍋島幸造	小宮仁士	128警視庁剣道クラブ	氏名	小濱有登	岩永二郎	木谷宋利	斎藤智洋	中澤秀幸
	段	四	五	五	五	六		段	三	五	二	五	七		段	五	四	五	五	五		段	四	五	五	五	五

# 第49回全日本官公庁剣道大会模様

日時 平成29年11月4日(土)  
会場 東京武道館

## 【開会式模様】



江藤大会々長挨拶



東京都剣道連盟



範士八段  
田原審判長説示



団体戦優勝  
警視庁剣道クラブ



個人戦 男子の部優勝  
西野友揮  
(警視庁剣道クラブ)



個人戦 女子の部優勝  
石森薫  
(警視庁剣道クラブ)



最優秀選手賞  
山之内健志  
(警視庁剣道クラブ)

○決勝戦 警視庁剣道クラブ対陸自北熊本

大将戦:警視庁半田一陸自北熊本野中

代表戦:警視庁山之内一陸自北熊本

代表戦:山之内が下からよく攻め手元が上がったところを小手に決めた。



決勝戦は、奇しくも第48回大会決勝戦と同じ組合せとなる。陸自北熊本は、2連覇を狙い、警視庁としては昨年度の積年を晴らすべき一戦となった。決勝戦は、対戦表のとおり一進一退の積極的な試合の展開を見せ、副将戦で警視庁が2本勝し試合を決めたかに見えた。大将戦で北熊本の野中が踏ん張り2本勝とし試合を振り出しに戻してチーム勝者1-1で代表者戦となる。代表戦は、警視庁山之内対陸自北熊本野中の対戦となった。積極的に下から攻め技を繰り出す山之内は、約1分後手元が上がった野中の小手を捕え勝利した。



## 平成29年度(特別演武)

### 『警視流木太刀の形』

警視流木太刀の形は、明治10年西南の役で活躍した警視庁抜刀隊の功績により、従来の撃剣が見直され、明治14年には多数の名剣士が警視庁に採用され、その後明治18年、警視庁本郷向ヶ丘に弥生神社を造営し、奉納武道大会が開かれ、これを機会に指導上の統一を期するため、斯の道の達人であった、梶川義正(かじかわ よしまさ)、得能関四郎(とくのう せきしろう)逸見宗助(へんみ そうすけ)、上田馬之允(うえだ うまのすけ)、真貝忠篤(しんかい ただあつ)、の5人の方が協議し、16の流派から選んだものを統合し、この形ができたものと言われております。

この形は、10本からなっており、1本1本がそれぞれ手の内、足さばき、間合い、目付、残心攻防の理合、そして剣道における礼儀などを習得する基礎となっております。

#### 【演武者】

打太刀 剣道教士八段  
岡野 薫 (警視庁OB)

(写真左)

仕太刀 剣道教士八段  
中村 明人 (警視庁OB)

(写真右)



### 「警視流木太刀之形」



第50回記念全日本官公庁剣道大会の開催を機会に当剣道連盟沿革について、過去の出來事を掲載することとします。今回、記念大会に各団体から協力いただいたPRやその他の事業などの大半は、記念誌に掲載します。

大会パンフレットの作成者として厳選し、「官公庁剣道連盟の沿革」安部理事長、第40回記念剣道大会を振り返って」伊藤前会長寄稿、官公庁剣道連盟旗の披露、昭和時代の大会模様、第40回記念から大会時に披露している古流演武について掲載しました。

副理事長兼事務局長 谷口茂樹

## 全日本官公庁剣道連盟の沿革(設立の経緯を中心として)

理事長 安部壽和

全日本官公庁剣道連盟設立50周年にあたりその沿革をたどり整理したいと思う。設立当時の記録についてはあまり残されておらず、また、当時を知りうる先輩たちもほとんどおられないことから、断片的な記述にならざるを得ないことをご容赦願いたい。

沿革を知る上での貴重な資料として、第4代会長伊藤博夫氏(現相談役)が平成22年にしたためた記録がある。以下これを主たる資料として引用し記述する。

東京都庁発行「職員文化－昭和39年4月号、同40年3月号」に、都庁第2代体育会剣道部長丹野克己氏が寄稿した記事によると、「昭和39年、東京オリンピック開催を記念して東京官公庁剣道連盟を設立したいと思い、剣道仲間であった農林省坂本登氏と二人で、衆議院にお勤めされていた山崎高氏を訪問し、官公庁剣道連盟の設立について相談をしたことが創立の始まりとなった」と記載されている。

早速初代会長に農林大臣赤城宗徳、副会長に山崎高(衆議院)、渡辺弥栄司(通産省)の各氏が就任され、事務局は都庁体育会剣道部長丹野克己氏でスタートした。この当時、阪神方面ではすでに官公庁署対抗の試合などが実施されており、首都東京では行われておらず羨望の的であったとも記録されている。その後東京でも手始めに衆参両院、国鉄その他の官公庁署対抗の試合等が始まった。

(参考)東京官公庁剣道連盟発足3年後の昭和42年10月に港区正則学園総合体育館で行われた第3回東京官公庁剣道大会(大阪、東京官公庁署剣道連盟親善試合)のプログラムが残っている。これによると、団体試合は14団体16チームで7人制のトーナメント戦で争われ、また、個人戦は三段以下の部と四・五・六段の部でそれぞれ高点試合として行われている。さらに、親善試合として大阪と東京の官公庁署対抗として20名戦で行われている。ちなみに過去2回の東京官公庁大会の戦績として第1回は郵政A、第2回は自衛隊が優勝との記載がある。

そしてそれから3年後、山崎高氏を中心として官公庁の全国組織を設立したいということになり、昭和43年10月13日、全日本官公庁剣道連盟結成準備会が港区の正則学園体育館で開か

れた。出席者は東京から山崎高氏、渡辺弥栄司氏、坂本登氏、丹野克己氏、安部兵吾氏、大阪府から名剣要一氏ほか1名、茨城県から野沢正氏ほか1名、神奈川県から小林完氏、福山市から横山政一氏ほか1名であった。協議記録等詳細は記念誌に掲載する。

○会長は東京の赤城会長、副会長は大阪の会長と東京の山崎副会長を取り敢えず定め逐次補充すると共に参与等の制度を設けて体面を整えてゆけばいいのではないかと、ということで結局全員の賛成の許(原文ママ)に結成に踏み切り、同日15時より全日本官公庁剣道連盟結成の式を挙げ、会長に赤城宗徳先生、副会長に佐藤大阪府知事、山崎高会計検査院長を押し(原文ママ)、事務局を東京に置くことに決定した。

続いて会長挨拶の後、結成記念大会試合をトーナメント方式により行い、優勝大阪府、準優勝東京都、三位茨城県、四位神奈川県の成績を得て、17時30分結成大会を終了した。

このように結成準備会を経て、翌年昭和44年4月1日、全日本官公庁剣道連盟は東京官公庁剣道連盟設立から4年後に結成され、その組織は東京官公庁剣道連盟がその中核となるためと思われるが、会長、副会長、理事長(設立当時は幹事長と呼称していた模様)、事務局長には東京官公庁剣道連盟のスタッフが揃って就任された。なお、結成準備会で協議された大阪府知事の副会長への就任はなされていない。この体制は現在まで継続している。

初代会長赤城宗徳氏は昭和63年まで約10年間その任にあたり、平成元年にその後を受け当時副会長であった山崎高会計検査院長が第2代会長に就任された。官公庁剣道連盟のコンセプトである「天鑑無私」の言葉は山崎高氏の残されたものである。

(参考)平成8年に官公庁剣道連盟主催で山崎高先生の「米寿」を祝う会が催され、神楽、獅子舞、フラメンコなどで盛大にお祝いするとともに、これを機に「天鑑無私」の現連盟旗が寄贈されている。その後平成10年に第3代会長として吉本實氏(厚生労働省OB)が就任され、連盟の活動も年々充実していったが、平成20年4月急逝されたことにより、当時副会長であった伊藤博夫氏(都庁)が会長代行としてその任にあたり、同年11月に開催された全日本官公庁剣道連盟第40回記念大会を統括指揮するとともに、翌年の平成21年5月、総会によって第4代会長に選任され、2期4年間務めた後勇退された。そして平成25年からは第5代会長として江藤兵部氏(自衛隊OB)が就任され現在に至っている。以降は、記念誌に掲載



平成21年12月23日

## 「全日本官公庁第40回記念剣道大会を振り返って」

全日本官公庁剣道連盟  
前会長 伊藤博夫

全日本官公庁剣道連盟創立40周年記念剣道大会（H20年11月1日、於いて東京武道館）

団体試合113チーム、個人試合一男子の部116名。女子の部50名。  
団体チーム内容は、国の機関－63チーム。都道府県庁－18チーム。  
市区町村役場－32チーム。であった。大会成績の結果は、  
優勝－陸上自衛隊別府、二位－府中刑務所。  
三位－陸上自衛隊第50普通科連隊、名古屋拘置所

遠路全国各地からのご参加頂いていることに対して、毎年の事ながら心から感謝申し上げている次第です。今日行政の民営化が叫ばれ、職員採用も少なく厳しい状況ですが、「剣道」を通じて行政間の交流、そして行政に生かしてゆくためには、全体で協力しながら更に展開して行きたいものと考えています。

この大会の開催に当たって役員会で検討した結果、

- (1) 記念事業として位置づけて開催する。
- (2) また所属会員からアイデアを求めてみること。

等話し合いスタートした。そしていろいろの提案が出されたが、結論的には「この全日本剣道連盟創立40周年記念大会は控えめにし、第50回記念大会は早くから準備し、提案された案件など盛り込み盛大に開催しよう」と云うことになった。

第40回記念大会のご来賓として、全日本剣道連盟 西村守正副会長様、東京都剣連岡村忠典副会長兼専務理事様に御臨席を戴きました。

審判長は、平井隆治先生(法務)にお務を頂きました。

特別演武として、古流之形(直心影流法定之形、小野派一刀流五行之形)を実施しました。

全日本官公庁剣道連盟創立40周年記念大会は、こうして盛大に開催することが出来ました。

以 上

初代会長赤城宗徳(元農林大臣)



箆笥の中から探し出した剣道大会記念品、初代会長赤城宗徳先生書の古い手拭でした。このタイミングでの古い手拭は大変な宝物に見えた。「自彊不息」ジキョウヤマズ。言葉の意味を調べてみると(自らすすんで努力して励んで怠らないこと。)彊は、つとめる。不息は、休まないこと。

提供 谷口茂樹



官公庁剣道大会で剣道形の演武をされる正面を向かれる小山紀之先生と後ろ向きが前島前副会長。奥の左から山崎元会長(会計検査委員長)、その右が赤城元会長(元農林大臣)

元副会長前島先生「吾が剣道人生より」

官公庁剣道連盟旗のご披露（平成八年十月）



「天に鑑み私無」  
米寿を記念し山崎会長より  
寄贈された。



山崎元会長御挨拶  
（椅子の御婦人は奥様）

撮影者 伊藤、谷口



前島先生の

「吾が剣道人生より」

左より前島先生、吉本元労働省事務次官  
土田元警視總監、亀尾元郵政省建築部長

（平成八年度当時）

## 第1回東京官公庁剣道大会優勝チーム



郵政省 前列右から川村、興梠、甲斐、  
後列右から亀尾、小山、大久保、東郷、越沢、小倉、竹山



全日本官公庁剣道大会 個人戦表彰式模様 平成13年度大会  
左から（当時）長野副会長、前島副会長、吉本会長、谷口事務局長

## 「官公庁剣道大会での古流演武」

副理事長兼事務局長 谷口茂樹

平成20年11月第40回記念官公庁剣道大会開催の企画として、当時副会長であった伊藤博夫先生（前会長）を中心に検討の結果、古流の形演武の発案が決定された。

タイミングよく当時、東京都剣道連盟が平成16年度から古流之形を導入するなかで、官公庁剣道連盟の礎を築いた長野裕先生（元副会長）工藤雄司先生（元理事長）、伊藤博夫（前会長）、谷口茂樹（事務局長）、堀内雄二（自衛隊）等が直心影流「法定之形」、一刀流「五行之形」を学び普及に取り組む活動をしていた。自然の流れというか記念大会の演武として法定、五行之形を全国会員に披露することになった。

古流一回目の演武者は、法定之形（打）谷口茂樹（都庁）（仕）中村正和（神奈川県庁）、五行之形を工藤雄司（自衛隊）堀内雄平（自衛隊）が演武した。

その後、各古流関係者のご協力のもとに現在も継続して大会に集う会員に裂帛の気合や妙技を披露している。

過去の演武は、直心影流法定之形、一刀流五行之形、二天一流剣術、警視流木立之形、柳生新陰流兵法、神道夢想流杖道、鞍馬流剣術等が演武されてきた。10年間古流の形を披露し官公庁剣道連盟大会で一つの特色を成しえたことは、演武者に感謝

### 第四〇回記念全日本官公庁剣道大会古流演武



（五行之形）



（法定之形）

今後も、可能な限り「古流之形」演武企画を継続して行ない日本の伝統文化を伝えていければ幸いである！